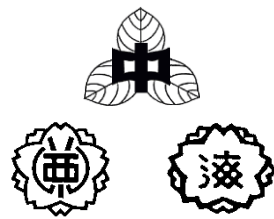


# 風は西から



平成 30 年 2 月 13 日 第 5 号

平成 29 年度「学びの変革」パイロット校事業  
平成 29 年度 21 世紀型能力育成事業（海田西中学校区）

## 第 5 回授業研究協議会（H30.2.1）報告

平成 29 年度研究主題

主体的に学びを深める児童生徒の育成

～協働・対話による「課題発見・解決学習」の授業づくりを通して～

### 1 授業について

○日時・学年 平成 30 年 2 月 1 日（木）14:00～14:45 海田西小学校 第 3 学年

内容 算数科 「見やすく整理して表そう」～調べて生かそう ランキング大作戦！～

授業者 須山 理恵 教諭

○授業の流れ

#### 本時の目標

目盛りの異なる複数のグラフを比較する活動を通して、目的に合った適切な目盛りの付け方について考え、説明することができる。

#### 学習展開

1. 目盛りの違う 2 種類のグラフを見て問題を捉える。

2. 本時のめあてを確認する。

2つのグラフを比べて、分かりやすいのはどちらか考えよう。

3. 2つのグラフの違いを考え、見通しをもつ。

4. 2つのグラフを比べて分かりやすく表しているのはどちらか考える。（個人）→（グループ）→（全体交流）

5. 学習のまとめをする。

分かりやすく棒グラフをかくには、一番大きな数や小さい数が表せるようにめもりを決める。

6. 適用題を解く。

7. 学習の振り返りをする。

○授業者より

- ・課題発見・解決学習を意識して、単元計画や授業づくりに取り組んだ。
- ・導入部分では、西小 3 年生のけがのデータから作成した棒グラフを使うことで、実生活の中から本時のめあてを考えさせるようにした。
- ・「協働」の場面では、話し合いカードを活用して話し合わせた。質問や感想が言えるように日頃から指導している。
- ・時間内に振り返りまでさせることができなかった。どのような授業展開にするとよかったのか。



2 協議について（成果：◎ 課題・改善点：▲）

○日時・場所 15:10～16:35 海田西小学校 会議室

#### 【協議の柱】

- ①「課題発見・解決学習」を有効に活用する授業構成になっていたか。
- ②児童の主体的な学びのための工夫がされていたか。
- ③授業におけるかかわり合い（協働的な学習）や話し合い（対話）を通して深い学びが実現していたか。

#### ①について

- ◎ 身近な生活に関わることのランキングというゴールで、児童にも見通しのもてる単元構成になっている。
- ◎ 児童が「1めもり」という言葉を使って考えていた。
- ◎ 自分の考えについての理由を児童がしっかり書いていた。
- ▲ めあてとまとめの整合性がとれていたか。
- ▲ 算数用語を使って説明させることも必要ではないか。
- ▲ めあての「分かりやすい」というのはどういうことなのか、具体的な確認が必要ではなかったか。

#### ②について

- ◎ 板書が整っていて、児童の思考の助けになっていた。
- ◎ ワークシートが工夫されていて、児童はしっかり考えていた。
- ◎ 話し合いカードを使って、児童の司会で最後まで話し合いを進めることができていた。
- ▲ 適用題は目盛りを決めるところまでにし、本時の振り返りをさせるとよかったのではないか。

#### ③について

- ◎ 話し合いカードが有効であった。自分の意見だけでなく、友達の考えに対して質問や感想を述べることができていた。
- ◎ ワークシートに書いていたので、どの児童も自分の考えを言うことができていた。

○海田町教育委員会 学校教育課 森山真文教育指導監より（概要）

#### 【授業について】

- ・めあての「分かりやすさ」とは何かについて、視点を与えて確認しておく必要がある。
  - 発問を「何について比べたらよいですか。」とすると、児童も考えやすくなる。
- ・全体交流の場での少数意見にもっと焦点をあてる。
  - 適切な目盛りでかいたグラフの良さに迫っていける。

#### 【授業づくりについて】

- ・算数科としての 6 年間の系統性が見えているか。少なくとも、担当学年の前後の学年の系統性を意識して授業づくりや教材研究をしていく必要がある。
- ・「協働的な学び」や「かかわり合い」とはどうすることか、また、「協働的な学び」により児童にどのような力を身に付けさせるのかなど、各校で整理し定義づけをしておく実践しやすい。
- ・算数科・数学科において言語活動を充実させていく。
- ・新学習指導要領の資質・能力と広島版「学びの変革」での資質・能力には多少の違いが見えてきている。今後整理されていくのではないか。

